

2018年3月期決算について

1. 当連結会計年度の事業の経過およびその成果

当連結会計年度を取り巻く経済環境は、不安定・不透明要因を抱えながらも、企業収益や雇用・所得環境の着実な改善を背景に、総じて緩やかな景気回復で推移いたしました。

また、建設業界におきましては、生産施設、再開発事業の需要が堅調に推移し、引き続き安定した外部環境となりました。

こうした状況下、当社グループでは、グループ事業の拡大・成長に向け「グループの連携強化」と「経営基盤の整備」に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの業績は、前連結会計年度に比し大型プロジェクトの減少、働く環境の更なる改善を図るための固定費の増加などにより、売上高 7,430 百万円（前連結会計年度比 11.0%減）、経常利益 59 百万円（同 76.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は 68 百万円（同 35.9%減）となりました。

一方、受注高は 9,026 百万円と前連結会計年度に比し 16.5%増加したことから、来年度以降の業績に寄与する受注残高は 3,364 百万円（前連結会計年度末比 1,742 百万円増）となりました。

2. 2018年3月期の連結業績

区分 \ 期別	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上高（百万円）	7,030	8,353	7,430
営業利益（百万円）	233	254	147
経常利益（百万円）	182	249	59
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	102	106	68

以上